

事務事業チェックシート

事務事業No 487 事業名 第二阪和国道整備促進事業（和歌山岬道路）

[事業基本情報]

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	1	道路網の整備
施策	1	基幹道路網の整備
基本方針	1	広域幹線道路の整備促進

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	都市計画道路費		
	目	第二阪和国道建設事業費		
	大事業	第二阪和国道建設事業		
事項	第二阪和国道（和歌山岬道路）整備促進事業			

事業種別		主な事務事業	○
事業期間		～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	第二阪和・京奈和関連建設事務所	池端 章(435-1077)	
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束	インフラ整備（和歌山中央インター、市内環状道路、東西道路、南北道路）			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	第二阪和国道について早期完成を促進する。	第二阪和国道建設促進議員連盟交付事業、和歌山市第二阪和国道延伸促進期成同盟会交付金事業等を行う。この事業について和歌山県や岬町と連携を図りながら早期開通をめざす。また、国土交通省から用地事務の委託（受託事務）を受け、用地買収を行う。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		第二阪和国道建設促進議員連盟・延伸促進期成同盟会に交付金を支払い、要望活動等に係る事務を行う。また、用地買収にかかる事務を行う。	第二阪和国道建設促進議員連盟・延伸促進期成同盟会に交付金を支払い、要望活動等に係る事務を行う。用地買収にかかる事務を行う。	第二阪和国道建設促進議員連盟・延伸促進期成同盟会に交付金を支払い、要望活動等に係る事務を行う。	第二阪和国道建設促進議員連盟・延伸促進期成同盟会に交付金を支払い、要望活動等に係る事務を行う。	第二阪和国道建設促進議員連盟・延伸促進期成同盟会に交付金を支払い、要望活動等に係る事務を行う。

2 事業コスト

事業費等 千円	事業費	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	伸び率 (%)	8,728	9,749	3,263	2,344	3,263		3,263		3,263	
	人件費	-	-	-62.6%		0.0%		0.0%		0.0%	
	常勤職員	20,727	20,628	20,628	10,526	10,526		10,526		10,526	
	非常勤職員	10,510	0	0	0	0		0		0	
	小計	31,237	20,628	20,628	10,526	10,526		10,526		10,526	
	国庫支出金	0	0	0		0		0		0	
	県支出金	0	0	0		0		0		0	
	市債	0	0	0		0		0		0	
	その他	5,466	6,487	0		0		0		0	
	一般財源（税等）	3,262	3,262	3,263	2,344	3,263		3,263		3,263	
	所要人数	2.79	2.76	2.76	1.39	1.39		1.39		1.39	
	非常勤職員	2.02	0.00	0.00	0.00	0.00		0		0	
主な予算内訳											

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
					年度目標値				
					実績値				
	単位	全体目標値	全体目標達成度		年度別達成度				
					年度目標値				
					実績値				
成果指標	要望活動回数				年度目標値	6	6	6	6
					実績値	8	7		
	単位	回	全体目標値	6	全体目標達成度	133.3%	116.7%		
	第二阪和国道による走行距離				年度目標値	4.6	4.6	4.6	
					実績値	2.2	2.2		
	単位	km	全体目標値	4.6	全体目標達成度	47.8%	47.8%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	順調に事務を執行した。
「見直し」「改善」案	なし